





田

增藏正部謹

37351

松庄左衛門改岳謹

党 用六兵衛啓謹 輯

名古屋の寺院

東本額寺懸所

役曾以本山了一个一个寺路》に 指揮監察号办坊分八下常上輪看回 5月子天四九年八月僧祐俊海東郡鄉 古渡の内条屋町の東はあり荷でてして 村上学文建立一て泉記寺と名づけ 人文意长十一年名古屋口地介《祭町小 尾張美濃具外門領分中のますと く微い了小寺子 一がない十二世の

小四十五年十月十八日本堂修造成就至真 いて近代でしまして好子真如上人志と継代 かわずに 场竜院启布状一萬将~賜ひ一六七の·比 と一个修改後力」と日年十二月 门主一如上人名古屋小本坊管建の志願 了九禄三年七月了泉龍寺心整方 一月五年复の頃了坊舍と曾建了 一九禄十二年四月十二日上人京都

结 面的庫裡臺河座數向の修 棟十八年小一人成記一了了古門對 13 年月上小修造加りての本堂八文化二年十 如上人と以て當坊の民山と仰多り方候年 上人の時為成 構 十五日新始了了人文政五年十一月到日上 内の勝比繁第の道場る 悉一全備一完也城郭の如人真小 いくつべどしす 便ううって 神多大造

工德楼门室原本等河外教教司室度之子等

ま ア 山小室原聖德寺以号一東本朝寺直 富澤四面一袋丁南 院 家也 民山阳善法 の曲 即八份称少笠原 例する ノてと 宝

七種の電宝と授与有一改七宝山と名づけ 高八小百十八建立一副善八任持七回小小百十八里 清 善年中聖人當國羽栗郡大浦村大平之 拖 親 左工門尉長與して甲斐國巨麻郡 和源 鹭里人の教育了你了忽万雷武のあと 万雄发一一て聖人上三の声子とろ意 古利了一下水正年中中島即富田山 氏 新羅三郎義光の裔孫るかが の住人

土創京禄信長記您見記等の諸兵禄了多一分八八の高田長二方藤山城寺入乃道言高田の聖德寺了人各會有一了一安 名古屋ようつら水年中今のガョうつそ 了慶長八年情頃,移一日十五年再七 本堂の本係多 一一一人之二年月定了了一人大文了八年信八先上同即为安賀下移一又四次大市上

重接強力費の鉛文と彫けたり

经減 切経されて

事實轉言出口信濃分家:得知知一口公今上一班持以出

写外灵物多一摘招聚物は粉集等十番寺の事とくり一人問山致影像回致の表。银鹭里人の影うり以上の七種八山号の起了巧 晴 专外是物多一 3 晴 天親善庭舎刊 雲灣大師慢骨 関山真華十岁名号了七月了了的文列知的今定了了江松風茶印起树菩薩眼

4

寺便二百石秀吉不寺的子! 今日思時 例から

網寺

具版町の南のそで西側在で渡邊山と另一東 治網具祖父後邊忠左門守網法名守網院 本領寺直击6院家也明督二年後邊飛頭守

為死の後その悔子忘左打重網建立——て代、の菩提所与正治寺邊八俊也家の領邑」て、孔子)ささえ和六年四月九日寺網 紙り重網と手中の 道書居古の香提の為以守心建立一個惠 の副子る で関山て ~冬河回賀成郡寺都の守綱寺 咆

本 堂 作 事八河外

鐘 楼

楼 建立了 慶安二年の

領 竜院局內作寄府也 石兼卷二年十月初日

上童律村了了一嘉複之年七の字小改为 照慶內師伊势国京名郡長島,建之一 到之七大台宗小園面大东寺七号, 山抵光院~号一東本願寺直寺の院家 小櫻町節長者西面の比例了了一个四章 小男年の兵火日堂语意展せー下此德 一古科多一人文真水之年四年即

元年僧西善再與一九和七年七〇比小

本量深信僧都《作件也

寺宝 の影像了爱如上人の干班作冊名号子教品了到親衛上人本像健心具外は生上人親衛之人連坐

養合子

了八誤引の城主富水流後守が五代の孫富か長ほとろの城主富水流後 格園面寺一門一伊勃園負新即長澤時 飯田丁の南側。うて雷水山とろり

水方在門の女水勝院妙齊の本朝之人 六石門的帽子久太郎入道賢哲李長九年 の建立る人

净念寺 十一有 銀むコープで京保十九年十一月青阳一八八十一年 真 三十石 章善院贈亞相居作实世宣楊院女居の 本堂作の不像之

山土方海意寺衛團御免許小一丁當京以面子之名の山土方海管意寺當寺土方と称五多年八天保十二年九月の 小櫻町節大律で東の北側よりて朝

清和天皇の皇孫经是王の十代大和四字 の外具例写事事一人号一寺格八卷合寺门门下寺八里寺上聖徳寺七二院と号一寺格八卷合寺门门下 智即の住人土方太郎李治十代の高孫出羽 と問着一終小宗门の旨」歸依一人往身 張國春日部即朝日打天台宗朝日山海色 守治氏の子土方丘近亞時直入道度惠瓦 经迴一班寺上店的了一時優惠被上人 寺の住僧パリーが夏ふ年中連如上人站因

七多的改字 が減れてなか の四人也下字四写自常真然名师花神の师直書で七件成七写一七与己本尊山附属七一调度即長持等奏印致付 本堂東與官印縣敬佛等一下作發不多壽耳本堂本尊何外院の本像八安河外的作了 多少な八再建の年月分り明 慈三年建立の一神行記に 火慶長十五年今の

鼓楼尽建立心

上人寺你年の名方印久寺里里 が一 事宴源教公御直年八字名号一福 即力一牌 格 夏 中の建立马) 持の品了具外親島上人証如

勝變寺

大津町面の南了了下寂光山と号一寺 郡 格聖德寺心內一天正年中三河國顏田 計等村勝製寺の住僧了意兴寺 須申建立一人民族のますと方為

下野一座之后版——一院家地のまに列 そのか つはよる三河の寺上ラで面がのかくるん 首多人ととうの寺八具弟带寺」と住職的 の寺格、聖徳寺の上に別らず一院家の上 屋城川の東今近万寺町了一九和四年狗 八年以内心今の地了つち小本寺針等 勝鬘寺で名づけーで慶長十七年名古

学覧寺

長德寺 二年四月十一長萬山人名了 杨町裏町197て長萬山と号一点本 11一之寬水二年和三年人报告丁了了 園建立して伊物の長萬の中川村もの 願于直去內陣一家多了天文年中僧欲 一的德三年六月再記了小慶一享你十

ようつち 江即富水村1 三河國碧海郡 正万寺町二町 了水山耳中僧 野寺村木證寺のま寺 月月 日よう 西の建立一人海東即壁 一と慶長十年十月了 内陣一家」て

圆章楼建立年月

光

朝日下小樱了の西 南 0 仙 て恵日 11

村又伊的日亲石即香取,在成战战等工物料下一一个乱之的了人成成八富古,在中田村了一张和日的中四人了以及唐横元年朝信房善西建立一个海西即の此具 ひは超過一旦其地名もつうりつれの村子の見りでして町方府志不尊の裏書延事之年の鐘の銘寺にう一行に 五年傳 鐘 本堂作の本係也 東本領寺直末分 一、九和年中大 そのみは寒一ち 第一下 到→東文了了 间 町小潭一寛水二 の一家多 了犯多長九年時次 フマル是又宝っろん 此德

寺寶上人就傷の書新号教種了

長園寺

東了電一個子面專坊と改の七の六子 中或以中僧西念が建立了不海東郡躺江村津島の净信坊生の家問一家多多慶長年 水主时极川的西岸上河下超江山七号一 -享保川年十一月一時ひ七のある場次以 ~礼和五年為井村のうち中橋

童樓真政十二年の新建了

朝寺

寺到也之大台学了一切古野の在古市场 中下新道町の西側は了了宝亀山と号 市城市造台の時看也以文明年中任僧由 の社のとうり のはのですりにうりしてること 式部惟英本家一个一一一一天~号之人, 懂女上人, 第甲斐国武田の家人馬鳴七郎惟房の为 懂女上人, 第

1衣 年領一了本堂建立七一政师恩報のため安置一奉之安置以廣長年中易地の少に「中城市造营の印茂本及安置以廣長年中易地の少に「中城市造营の印茂本及 后 气改字! 事本尊河班院の本像八件工香日の你と、ひ得人又 宝字と中典与と寺傳以入り

鐘樓寬文年中

一手主具の外們像名号子の数品写了傳表が一物写 鼓 信主の侍大将,小小中尚軍留信玄全集等之差及人情以此信主の伸不致多少人上了了人以教是無衛八 接天保八年八月の建立古太鼓とり丁八分的大大天保八年八月の建立古太鼓とり丁八分が路に大

正學是寺 塔 頸 塔頭の疾一分と該り请了建立以惟信寺天保八年數田の園福寺の

中 且 三月今の河了了可見七七佛及寺派是宝 とうれたして中下六句町」うりしては他二年 同一寬水点年二月僧良清中興四次 京に轉派一寺号のこと用ひて山号八称七 山正党寺とりり一方九禄 下新追町の西側了了一寸格八克園寺 四年三月七日

いと寺傳文八月

鐘樓走之也

善林寺

依町節長萬町東の北側三万て海 年中僧教 七号一東本領寺の直手也能擔以引夏 と八百座丁子うつ とれると年うようつろり 保が建立了八百座がにろ 4 一の万世寺 今一分入禄三年東本方世以びしたり八泉竜子 吧上

净額寺建近年の

快見町通杉丁南の東側了了了作政 少号一東本朝寺の直求也大水三年林 西坊意息其准在太大保政の建立了一份東於西坊意息其准在太大保政 伊麥村山在一公正保三年九月七の水上慶七

经 截 黄 桑 板の一

興西古

粤西寺上改号十一人之夏水年中北為西 才、7 變寺のま寺也る下为真言宗にと净庫 町了了了一葉柳の也了了一處水年中以寫五丁之里丁了了了一人人人了了了了人和年中今の印保井の了了红 坊 上宿の五年藏下了了て三河の針時村勝 四村工在一个大五年中七百字了改为一名了了水村礼年の民基的东政传 後下梅のうりへうついてきりついる多人 でぬから

を安年中かかびてのでようつでく 重樓鐘、安水四年十時 のみもてみりりう 本堂阿外作的本像と安置一十八春以院居班去的

養照寺

行て将國寺といひ一が天二年中の兵次 勝變寺の井寺引伊野國京名即尚 押切町1万了端光山之号——大牌町面の

年七の寺号に改むそので、事保井年二月再び 以烧失七一二年村了泉尾辰(木)爱知 一下寬水手中押切村了了一正行二 即日置村山出寺と魚五一净園寺とつい

法藏寺

三何の針考村勝愛寺のま寺也明為七 中下新道丁面侧了了了田中山之号

三年てのあまうつ 西方寺の傍愛山心隐后が~七一と夏水 年の草創一春日井即小田井村。了 了一寺博以此應九年の建立之间村 夏延二年七のかようつ一万日前行記 鐘楼建立。年月 (由1)時 ~

慶常寺

上自家山俗稿節の北 例よう て京都

東本額寺の支院は光寺のお寺寺 亡の後今の比小選片 七年方寺町町 りと事保九年院

信寺楼等一中部是八万

净信寺 下納屋町裏小りて知多郡成岩村无量 壽寺の末院也僧理賢の民基上一寬水十

常瑞寺 正福寺 1和 大文五年僧慶善建立一行情頃的印图 二年不比小建立气 でううりと慶長年中七のあううつち 国片町こうて東本額寺の直ま也 本堂本尊、行体院の本像也又聖德太子 鐘樓等,夏政元年二月新

郡三田村ナケーと寛水年中八百屋でいう 部山巴马東本額寺の直まうしと海面 鹤重町下長者町東八八北側,写了里 一世宝三年再びうかううちり

福思寺

て永心二年十月十日了小建立い 伊势國長萬の明照子の仍起道が說是山伊势國長萬の明照子の仍起道が沒是山 住吉町画側りりて同町寺綱寺のますと

間安寺

袋町的王屋方来八八万十万万未布顧寺 4月で山巷寺と、ひしと寛水三年五月了子了 6直去到一七七伊野國京名即香取在不枝村 とりっとの自争的からのピュラウーーなりーンフリ文明十二年僧は国が走至りて長萬コラーと変水三年 て今のうちょうりろしとで了るれるよろえ 鐘楼建立的年月 ながられいうつ

正教寺

了念小是了 安郎三田村了了一个元和五年九月住僧 号一東市領寺の直井多りとと四面即高 針座町筋袋町南西側了了了里部山と

海寺

市朝了の国本之党が子中之后國方政府 去塚的の西側子行道教出了 户村子ろうつち

善行寺 鐘樓

一色村工在一人夏水十六年、了了也 二十五年僧净信の建立了一中萬即片原 同町以側、うて東本額寺の直まと水

圓明寺

九十軒的の北側了了不私島山と号」 本寺の馬子文明年中仍為惠山島具起の

小大文五两中幸智之以為僧の建立有了 道忠とか方方たりりの関星了伊势の長鳴のま子伊藤石兵衛尉具後入道の関星了伊勢の長嶋の 七,島1在一下九和七年七の比了了の八府志 し、ういろうるして

國寺

寺の直まるり明和四年二月中面走了了 十五年の建立了伊特の長萬山方 東田町北側:了了法京山と号」 一大大文 東本領 多级表

了了一萬治三年再び了了了 須の練屋でようつ一九和七年二月府下书の丁

鐘 楼

寺寶菜處院居即身年の七の寺玩

寺 夏三十石之禄十一年

光連寺

版河丁以明了了了宝池山下另一 朝寺の直まる了天福元年九月位:本三即 東本

盛網 了建りし 二年回國也川卿了了一具沒國好の電 下屋の東寺町にうつし後安二年再也との比 即至世房の建立了人三一回和田鄉口在一下文明大僧部出 开户明神的社化上選一覧水十一年三月名 の子息小村次三成網入道慶園号九 一寺に見えり

安净寺

獨重可袋の南の西側」のて海寄奉と

智中與一人伊的國京名〇印寄山在 内七年か月ラかうつち 号一東本顧50直击也寬水之年仍京

宋西寺

樂運寺 末 5之也人同國情頭即善明寺村,在 笹屋でようとうの風針等村勝變すの と道水十二年六年八月 今のるううつち

为えない年十月了かうつで ますうりとと八重万在かり1月了福西坊と いひ一下夏文十一年六月六日七の寺号に改 方津小林、ラフてララ風悠外村上宮ちの

理相寺

多藝即移本村の枝井也了了一處四年 鸣即太田村→了~~~文亀年中美波乃 鶴重少公正屋町東へ入了北例了了りと中

里相寺と名つけ後の福知の領土打木伊子の連教了里相寺と名つけ是子うたの寺号知らい現住養六村 3县建文子とうりて寺号に用い――寺傳子ン房りより」具義祖宇多大皇の印は号金剛寛空理した たてられ

本室本等河流の本像、一下萬治年中七の不了

學 音寺

と姓宝五年十二月十六日等栗即曾根村中 十年僧室息建立の寺了人竹屋町了 新出本方了了了東本頓古乃直走到了文

京原真坊は成人、ひして宝水年中での宝子三年、月十三日七のですうつですりて 寺号改多一句徇行記、為 一大和二年三月四日古出走了了了

法光寺

寺乃未院多一慶安三年二月僧與玄建 大津万筋南のしてからて隣寺勝髪 五一七中島即奧村山)~~~夏文年中

一変で

日置の更屋敷小りて聖徳山とろし 傳了了古像多山子と然像上外外出現了一生水像了了了了一数四の海中了一出现了一生 民奉七一曲方方府志山見えり一州寺山太子の 風寺 針考乃勝變寺のま寺也之和七年僧教園 鐘樓 鐘,夏政五旦四月新 三河河

善正寺

ると洞家の神宗 古渡の中市傷力 長十七年七の字上改む りて善立院り、 て原子領寺の直井寺

田学修寺派也

高 田本坊

上自東町了了了伊势の一身田專修寺の 五一て臨江山信行院と、ひ一と明啓二年 本坊也慶安元年僧玄恕皆戶町,建 分了了一九久四年六月高田本坊人人成 序堂在尊八河外 の項正すといひ らい多のう

鼓楼 童楼寺四日第一由部是八八八

至誠院

車の町の北側、ラフで属井山と号一專修 沙比好川の程運手の信化う 魚井納屋東方小了一下負享三年了、電方 5の直去引慶安九年僧玄小建之一

童樓 第一曲的月八八八月十日

赤迎寺

昌南岸町の北側197て金庫山と 専作寺の直まるりととは次の角質しよ在 一义慶長十五年了八丁つ七丁

久遠寺

法華方ののもりりて賢隆山とうり 修寺の直まう ~~~押物の長島立在

多 あるる子りと 隆下四的宝暦十一年九月四日山号万号下沿 見きてとろり一段かの方朝日郷で見立て傾ようつかり段ひしつ、便利了気でと随意 うつり久遠山見立寺のとというり名づけ 一个傻长十五年了一个傻一見五の文字以 一次大正九年福島四則以此下賜了了清 してなのかし 改为 主にながか

各全自走上保礼年の建立

半十日軍宗

華寺 は屋教というひて一字で造五一 公事教女一是美像の岐阜」的九大智地 鐵田帶刀在門府常勝の本願~何日 授問奉马丹五世刀住僧日陽八右大臣信長 号一京都の本國了のある多兴德年中 は華るいのれの方面側はりて啓運山と 一去華寺

梅拿を賜り用ひ一が姓宝四年六月の雷大 免許以得了字古下丹與一則公 及び一方生日間八四日縣依舊五少丁也で 焼失せしく 五月净土宗と宗論了了日連宗新減」 ひ一のち日陽八尾張」場りてものう大山七年 く名づけりか信長公匠いの安土へうつりたよ 外外

木達華谷の宝谷と合て安置以一京写日十本 本等八釋地方宝面如木の水像切区連

寺便百五十石度長年中性高院君百石中子的行 寺寶織田帯の左門附以下彼氏の人、の号追比

法寺

法 てくそうせしな多ううじてするいつ のまるう僧日永岚是のりしかけつうんと 新寺 享保四年二月十八日の大天子類吃一記録: 同所了了了水陽山と另一京即本國寺

と此からちろり人山ちと改了一年 饭性物的~了人的又进宝七年十月坊号 寺となりとを長手中たのでようつしょう 13 うちろうそしの清阪1万て青陽山妙園 かり 了一条山七号一京都妙頭寺の

本正寺

同所以東側与了等竟上之号一京都 本國寺乃亦寺多水福年中僧日仙走

五一个冊羽即岩倉村上了一个四時寺町方位 りくとうとき長年中さかりつしてひろい

此次寺

闰奉一号元 了授予了去以下修指了文水十至南年の文子 了時旅僧日連上人の本像以将来了一切长 國寺のま寺門凡切長が大水年中 回 所面侧,写了妙長上一号一京都 一一个事即下海村工在一个

と名つけーと信は為ようつーの万又炒やようつ てその山号寺号工時少少心的事堂之通称 おう人は影堂と建て安置一清遠山が長ち 見えりこれようて上人の目り到了像多事できと り小庭と結びて以像と安置与草禄四年僧日

すく

中的感色寺の像上の些遠寺の像といろ了一多了大 本堂像位後の國子人文水十年日連上人の作子人日本堂當寺の日連の像八誠」霊像一个住境还覧」出

本要寺

大和导敏定的祈願所到一个李長即 應府內後了了了了的教送の法号常英 內所東側三分人常英山と号一京都本 というと以ていちともとり 图了6年寺也是以修四了了了城主織田

本住寺

同所リアで長寿山と号」 式蔵國在

僧田現で茂いてーラフ 守寺方郎建立一下本门寺十一世の住 同 即在門情須里 曹ひて荒人人にり 原郡地上乃本门寺の未寺气 那二鄉城主行方修理大夫了好尾高 展心上派の信録司とり」寛文二年十八月七日尾派美 一中明一夏多二年 り一つ連年の兵も と尾張の士印藤四 水禄三年

大元寺

情妙寺 图府中山了了一又情顶山了 の名,改为の与平岩親吉國看,一一个甲斐 の建立了人上野國名和村本妙寺人、ひ 身处山久遠寺のまち也大久年中僧日傳 新町の北側りりて妙場山とち一甲斐の 一七季長年中四國 と中電月の場うにうちち 風橋 ララーて今 く田中大元

瑞龍院君の中かーと得て永思二年に建 久遠寺乃非寺也茶屋長以外本願了 建中寺の東よりて原頂山で另一身延出

手寶親音画像也了一个像好了事作免许多一一 一名公ろう きにきはせー 有の画像と家に所持せーかのちょうや中大笠の観音の画像と家に所持せーかのちょう交迎風」後り安角国王山門一多か彼王一かのちょう うろう

庭前播口至6点等成一个方被多一人近

妙庫寺

改心宗祖日連上人の父愛名重忠は名如日寺と一致一日寺とれり び寛文五年即免許と得し日淳庵と名づけ 茶思所有一个個日淳慶安二年章看 と结 は奉寺の南上りて妙日山と号一安房 國長校郡小湊村誕生寺のま寺今出不ると 一、延宝三年九月行安房了小溪浦沙庫

言と小凌の誕生寺と共立公丁請ひて改号 世自山氏は石妙連と、了ととうて百住僧 B

常德寺 多真真如院、同年四年日月日通〇建立至) 答真真如院、夏文元年日海原子日韩の建立 何行記以見之了

寺の住僧日经建立一下清頂の土田山 京都妙满寺のまちろう 法華るのるの西側ようて資珠山と号 慶長二年抄满

住境世魔以勝为派の通場了日毒之人 で印建有のというようつでり度長十五年とら十 問是 多了七、唐人 光子母神堂 朝堂の印章う 夏九年僧清建之一了善林坊と、ひ一夏忠善院八度安三年僧日春建之 启 シーン元神四年 慈雲院、慶長

妙泉了谷

京都小國了日子了子子大二十五年僧日相 了了了一个一丁一〇事是多人 建立一人行的人了 法奉寺町北の東側」りて本光山と号 沙印港的多

本成寺

星の一手傳、唇 (事了了天文十九年五月十七日借日政成 同所了了一事此山上另一京都中國了

毒九寸

未寺今曾日本建五一て惠日山長此寺と、 エノを愛し 同所了了了在證量山之另一京都本國50 丁子傻一一一一記一寺傅八侍便至の事的方府志之七情便了了一下多長十五年 ひ一下九禄七年二月七の山号寺号以び 民沙門堂 祭礼以他行八日

单辛 寺

同所西侧了 一て荣陽山と号一京都妙

を申るして 良是有一寺侍以座,町方府志品情便下 題寺の末寺也大正十四年庫華院日智の

連勝寺 建五一个日住公岗山とらと寺傳以客 國寺のまちろう元和四年林住院日勝 内所專例了了不森住山~号一京都本 皇中静女堂八日条礼修行七

妙本寺 净庫寺 末寺也天山十八年僧日起建立一行诗识 同所上了了超五山七号一京都妙竟50 國本成寺のまちううたり升即稍生村は 同所面侧上了了毒量山心子一数级, 七面堂女品印考的の七面の像之安置人七面堂处室八年の建立了一身松院 一人中電局の後七の心了了一十

山とセーと子長十三年七月清頃ようつ 日神が法を授りりて當宗、改的則日神と気 年中住僧日秀越後。本成寺二世の僧 後々のでょうつちり 年月季のかりか多く 在了水和二年建立の真言寺了 ようへいかからかる かりまくけっきっち 真言字6時寺家十一次了 亦意以 1

大樹老松境内上了了是了 十一寺はつつり 見しつう

本立寺 清頂,在 國寺の韦乃也文禄之年僧日喜建立! て 同方の東側了了一件力上と另一 常唱堂 そを長年中う了うち 京都办

妙行寺 光明寺、あって廣居山と苦し 磐田即見附駅の玄妙寺のまるう寛水 走江回

もつて中母として見えた 張州志墨士信鮮院日務とは上 十九年十月楼川善五四日本 領人建立人 日惠了

妙善寺

マ安立一愛智即若作村妙神寺とと 扣地工堂と建五一長以分到了七面〇像 6末子子僧日春天和三年茶屋長以下 福丁の西側1万て七面山と另一京都炒頭

以不好可的規模多人 一奏寺のちとうつしててのすろうん 起院君中縣依在以下之一 事のう

里軍寺

ガようて真言字多一~~夏文六年七の字 日置の内据川の東岸山河で日秀山之子 一安局的水溪村誕生寺的东方多了了一中 りかて「アトタアで、同居して貢林及といびーと

成与大型一之或古家事留了了と多方 内天王七着宫七两所八夏水二七旦九月二日 艺松宝寺,負事之年甲子日置村科村七个の 弱竜院居誕生一孩了少此所俊之佛院と 伏見の間果の家小人 いすのでようつとーーンとうりは二年今の山ちまろはひめ入和三年 九五年七月七九日午到市城下南寺方通 予園丁 川端聖運寺是多了立公公的春少九の 编年要墨了寬水二

圆順寺

上自東町の北側、うて長久山とろり 失の版的十年三月了几十一大 建立一個屋裏町口的一下享保手中院 都此野の五本寺末寺子系德三年の

本党寺

大會根板下町よりて野路山と号一京都 妙属るのまするりととほりりってかはち

宗一て今の山号寺号として という神寺うーと正徳五年了よう 改

真种寺

二世の僧真柳完日動の建立多 同所法華寺のまますり方長年中法華る 法華寺方状のふ 日親上人堂 例ようと意眼山と号

玄東寺

八の延寶五年四月世日坊号と寺号と-と、ひ一とほ」首題寺と改め又玄東坊とう 近の用是少十月質了了一卷とひもび本住庵 後誕生寺のま寺子 寛水三年土月僧 首蒲草ではうて真如山と号一安房の小 享三年四月そのあようつち

法道寺

東田町の南側了了了喜林山一号一寛水

九年十九年他自解建五一て長者少の南 うりして四十九年うろうつち

重正寺

静建立一下数田鹤拳山乃南山了 延寶三年爱智即高針村了了一口了 之号一妙連寺のま了多月元和年中傳 影河町高岳院第の西側する了て法 延享五年五月四号重政山下海 輪 日

長学以外了在公号とも

南京都本能寺と抵津尼方等の本典寺のの京都本能寺と抵津尼方等の本典寺のの の世常壽院菩提のため、寛文八年建之一 了春日升即小幡村日在一下九禄十二年世览 志君八宝水三年正月ともその一門は愛丁丁 禪寺町南の面側。了一个本光山と号

了一とうちり、内心林十丁と号は一件村廊成新田の内高八十石と春日开即小幅村の内山林十丁と号は一件村廊成新田の内高八十石と春日开即小幅村の中頂水水上である。

了義院

院~号一春日升即清須→了一下慶長 光寺の赤寺うしと真言学~冷谷山成 年中上万十万一のりるうつしつう 大曾根町了了了妙見山之号一 少連年大破及七安水七年十月十一百度寺 新町の大

コランジ 請再無一了改字一同六年今日号院号 一下天明四年土川口四日大老寺、該

頭性寺

日置の金塚かの面上りて法住山とろ 東寺町の妙運寺のまちろう寛水八年の 宝三年十二月爱智即高针打了了 建立了大勢田の旗屋のうちょう

同五年橋方裏了了一九 のやこうつち 禄五年五月今

经王寺

王堂と名づけーと此事三年二月七の次 阿弥陀堂了~~京好三年程心堂~ 能屋町の南側りりて廣布山とうし いの妙善るのますうりもと尾頭ですり 了一寬处三年十一月智多即卯之山村大 福

協山宝幢寺の座之了寺号で請得て同年 という数以下と俗は全堂的とり 十二月今〇山号寺号山西沙沙面称经王堂

妙住寺 大和三年僧日道建立一个花口丹即大 山号——出藏 古渡村のうち表のの面側コラーで長寿 幸村胡岳山塘林寺の廣之了号之詩時

風池上乃本門寺のまると

てその山岩子中

靈山寺

文八年ものろううつちり 第子日成,建之了一西城語了了了一个宽 行方の东方也的任二年上行寺の日季が 同所東側了了見佛山之号一京和上

体玄寺

1月子はりて寿量山と号」 東方丁以達

寺のま寺う九和山年の建立とで数田はあ 後三十一一一日寺得八八分 一个姓宝三年爱智即高針村了了一下

國立寺

のまるとはなると同一く勢回よう 日外了了了中山山之了一東多多物事子 うつことを博わらむ後別志君よりつ 宝三年十月高針村了了一日二年今の代日

本竜寺

押切了の北東三了了遊宝山と号一致後回 本成了のあちう為水年中僧日在建之七 ーとうひろつろ

本遠寺通行

櫻の丁節具版の東の南側19つ回保二年 建立一て玄収をて名づけ本意寺通所

清壽院修驗

門前學面侧了了了山城國殿醐三宝院 同行尾辰美濃二國の先達了了人 神社的部出出了

大宋院

紀伊國根未同行了——分七日聰湖三宝 南天道了了了了爱岩山之子一 一當山沁

完預了 を神社 部了多少女

庚申堂

千日念佛堂例,了了了 神、犬ヶ森と、ひて清 辣地下廣小路の北側:了了良宝院と子 十八年十一月了了了一番治三年及失の後 一當山心清壽院內行有鎮守戶隱明 頂山了一と慶長

香のれありとも 杨町東二門不德林寺の打手

親龍院

为成坊とソンて延宝五年了了了小住人八百屋町よろ了情毒院內的多了了

良覚院

西銀冶丁十月 了人任 人国 四初到享得十三年

繁昌院

伊勢のうろて三宝院の直回的多月伊勢 その巫女十七夜寛水年中伊势と退去 雷國鳴海東り八幡宮の神子とろうて の時常目多次还女之中再了一二八七夜春~ 了一~柳春の節於念而和神外他的 6内宫の子良子、大卸女命の末至了人了 神出之奏了一九禄二年然目完此時代

られるな子とし 小来)

そのちち

型女の名とハづらうひしよれて夜と中上 瑞龍院君即你井气神乐即他们 0寸 女の面称をそれ、ひ得一万人 以来我身之改了一个的之一一名号之些

地昌院

九十野でよう 了了當山瓜大和國 内山水久

寺內仍多了寬水三年海東即对子村了

ナーナーつつる

明 昌院

日かりう 建立之 了回派的毒沒回的多大和

熊 野比丘尼姓典

内死了了九祖三慶以丘尼八伊势國山田の 人多一慶長五年情復日本り比丘尼之世

壽命院 東大道四東側山河石當山派清毒院回東大道四東側 うで毒命段美濃の可見那八十一輪~ 山の修敢隆海再與一の方福里非歸り 俗智力人株子田出千秋万藏等的八分子 比丘にサラとりものできりてうかん、ラク 仍多不少天通宫人大水年中出羽倒四里 い了とのとい居一九和年中了了了多

まりてるとうしょう

養毒院

山本門創建了 新出来了了 て旧 安以九年

中下浅间了 マチハリ 17 庚申至

中常院

泉和汽车吞口丹即下小田开村了 中下萬松寺領山了了四十四的多 到

中下六句かようて同一同行行實曆 ううに主

1 . 47

地福汽车

方は19人了山瓜面銀石町の良意院 日约了安水五年 ー・アーモカ

田中親音堂

こて眼疾と洗ひて年愈のろうしろりと 中下新道方の西小傳馬可東了了的人人根 青宝のりり一看地は文化年中々の堂と 再兵一行星菩薩の作佛正親音の古像と 中の井户とううれのづり古名しるひろうでか 遠江國了了了一人安置也又倒了地蔵堂 金毘羅社寺了了了里人东治与开广传家

净心觀音堂 びまとしい 中下上宿の北西山川端山河道政年中净 華宝格金問題社等數字为了各行人 石·て対了的観音の像か安全的法 うくもろいるう ますりち号、する 一四寺の座地一堂と身五 以上の二堂及び強

野に丘尺八修験の類ころしてとくしてい

らた僧の守了所」 霊佛寺の風えるん

八巻まころもの

名古屋高信城此 城

三之九中小锅の面の了了到我家屋敷的内 人物の降上多了 行了七年程是子のみと残して

そのこそかのう 川氏豐城路 め田地子

指助

時 茶名町通の袋でのはとりよびの つすらしつって八点してるのしはら了其か 了一个社方了一点追上火天了一个了了了 博士安倍時明秘書と立地理了人家と 时 松光の谷とや中ようつし 一何行記可方府志等,了晴明分 事、字的指 一大文

事心所見多俗沒多心面心心其大天 遺寺の古物語」是文八色以上於北北 おまというハウイバをはいる

神塚 院師長公井后田山論后了一時多是心 小松下の原側の高家の東上う 土各野了人小 つびするかで一女の故郷了彼る婦的のは 一うせるとでそれがか神

廣井女王、塚 属井中,少の武家座敷の裏工了三代寶 手をつきつというり気なーととはううう 事实の可看八八一小子的一个行名 の修と土品野乃今月少以为多名之一 さすがか古塚のかもりげ見えてあられれきど いるされ物もうしかしかしかりつく でる理し一切うといひ待へか 神りずると 任

銀马一 真清田神主任分清園かりらり一つるもの 差象のあくうと、ひ待八万女王八尾後 了到古 6國人到一一字治殿记以見之了 一八八峰何王のひその廣井女王の

小首塚

高岳院前の武士を敷のうちょうって大及家 としふか子神學到的一首國の守か了二萬

言とっすべいずの俗書して九診とらべまとの 一大友真鸟寶記~从10日子一行之 大武大皇は随ひ奉り出る了る人合戦で 6軍兵>催 と特治らべき、それとるろであるいからく 1月八八行首了了多人人又小子部心一首 得へよりられどしま具身實記いろとからしろ支屋 いう差のふろして文真島が看塚うりとしいひ

一只何人乃差亏

里堡弥

子子の春 殿河の園教寺境内」のころり慶長十七年

東與官同等一名古屋への近ろとひら支 たりひ年針村寺」傳馬とすり一里仍寺 となりせる いしその形のありうううなら

町坡河海道至了了名、坡府乃即在城 一當府風ひろひりれの名う

二子山の古跡

市进府乃時有一一八平地 西本领寺本坊の水七日高人丁 与之一的人了榜撰清正記尾陽雜記哥 小於情心主の夫役,毁ち一改者,闻之 引 和古野山立と、ひ一年山的り一次慶長 町鱼とだて ーニチム

きでかの山とむちゃ から了肥後のたがとう

為 溪

か家集中の本林の考として了又續日本記 日還の白山社の造のショールと了今日人家 扶桑思記了養天五年五月成申判尾張 ひつー子首園の考と資べしいや赤保衛門 神方色いるの命者しより近一例多方

きのうひこの中にするがなれてりたりは 国 ア畑の土 神龍の了り一路到了好偷看也笑 すいりまたと見く言上でしるのうべした時ち ム· 想力了 るともろの年り出るとのうら からるつがとくれるもろの多のつかる 言小鳥上大鳥、了多多高の果 满茅事. 餘鳥0

無三殿外

と賜ひ日置の引在了在一下了了了了多秋改 心威権心富了了一分延宝七年養子圖書故る 原久入道與三下宗室の貴家を作禄禄 りて家名断绝也一次無三日降三百人口 据川〇西岸日置古渡。煨了了松平圆書

えの木

名づけ

1 200

中下口川の西市基門小山の武家區為 て櫻不数林了 と子中色府以前八天王山 路故 のふとくれる后右 00

净数公0思百十一 いひはへろう してその木と名づけ

11, 吹谷 片端の東极不知鳥屋少かの色むり 那古野山の谷合」て山吹ラーあり 故

Start

春春的了人走一道也 今いちがものううで いひはへつ

布力池舊跡

名としは致し名づけしる 山下越一出題上海也次の了 市下屋敷の東〇方印添花の武士屋敷造小 ちうつととは具名ののかり往古海湖の うしいかで添してれの大心う 高力程信力表 一有一放里の

亀尾清水 たどで言い 多

まにはれてでをうりの人家とはならと 清水町の南 名づけり のなかり 個事

田的官事就象寺一条话也一时了了 大會根門你院 法,井 院の南山あり山は大师勢

摩之代一河四の水之仍 得へろう 开

古渡福橋

の格の同例了~生人、了明日香井集 するしいおの名うかと難彼のるでの格 の核ハううりーか近文はくろうせる 稍為社人大师堂人的高端了多数指抗 ,そのるいその方はきてした

せの格で 近覚子かるいーでいるいろいり しらうるとりハナインラランと住境

直會林

會多事八春日升即印揚村の作之為方古渡町の東上了了今如来的表上了了 也致了不了一一古版志之人物是 又此追上雪の林监人林大像山文下之了四 えいしどをあれる次と多りかができる

いるようつ

為朝塚 の嫡子義寶富團智多郡人隐己住一其 孫市過太郎義季了八十部行后在 人又牛五村領學寺の傳記,為朝的子尾 展水林八幡の社人のおこりひに八万為朝 朝了小住世一次写着下落一一里走了 尾頭町春寺の水の方」子り鎮西八即為

多べーうんとう事実にしっる古書い 乃人、任一心与三八年祖乃奉、第一品 去手のひきりつてあるものし 見えずるでとり里人の他人と塩んする 夏次的義次了了1年 士見 一一、ひてをゆ

前律中の切のなの家で変と了此ある 東愚巧の東北の造るとの高文所

多したてワーるは見なく呼びしてい 保のまりえ文のでとうでは具の各座 了小富士山の了下文人竟一只狗の雪白人 りて知雨亭といか村良田伊当下屋敷 了了有為の別在とう不 見低了了人放了了一个一个国由地名下了李 河 東とのぞのと春日井郡大卓山のるのこそ 林投山の北の方山山の同のひきるから

山東、富士山、見教育にそれらのです十 うて見りういうへいがられて甲斐園 の面のそ又伊勢の白子の次の四十分 五六里也此了了公有降小了東の方北 う見いるるは望の山高士をうが放 何いあへ多一出張了國多了多國知多的 さししもよ詩奉部句ではしりてよみ ころるる土は眺望のうーでいう

らぞれで名文てあるう人 うるなからし、又が近きこかり猫と 積雪乃之とで具うちの頭の火り了山の の此の方信濃境了上しるがくるび之四時 了你人もり以書しかんべくかとのれよう 了化了了俗人下路のでくいでもさし

大人保見可小女为為

りて具下る

とうひつしいかとしひろしゅうしょかれ 講で了来の方傳光院の地内」小一方文 いひは、其側ではうないしるつを了う 石の五輪恪安了了て然式都が差到 文書女であっちょういりりとうあてりい 身て沈むか神いはてゆしょうよ たくうういたとうとぞれかをの 了からべなゆるーい、する古書、見ら

万九又造 のか古野の村の先ういろろれ 関」か名



